

[食事のなかの炭水化物の意義を 科学的に考える]



講師：石田 均教授

杏林大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・代謝内科

〈主な所属学会〉

日本内科学会(評議員)、日本糖尿病学会(評議員)、日本内分泌学会(評議員)、
日本栄養・食糧学会(顧問)、日本糖尿病合併症学会(理事)、日本糖尿病眼学会(常務理事)、
日本臨床栄養学会(理事)、日本臨床栄養協会(理事)、日本病態栄養学会(評議員)、
日本肥満学会(評議員)、日本骨代謝学会(評議員)、日本糖尿病・妊娠学会(評議員)、
アメリカ糖尿病学会、アメリカ内分泌学会、アメリカ骨代謝学会

国民の健康寿命の延長を阻止する主な要因の一つに、生活習慣病の代表例として知られている糖尿病の存在が挙げられます。今回の講演では、その治療の基本を成す食事療法に話題の焦点を当てながら、なかでも食事のなかの炭水化物や、その大部分を占める糖質の生物学的な意義について、最近の知見を織り込みながら科学的に考えて行きたいと思います。

日時：7月4日(火) 15:00～

場所：ゲノミクス棟2階 セミナー室